GREEN BREEZE

2026 May VOL.58



軽井沢フォトコンテスト 2025 グランプリ受賞作品　nkym935「凛冽の焔」

ようこそ標高1,000mのウェルネスリゾート軽井沢へ

軽井沢観光協会

Karuizawa Tourist Association

軽井沢 美しい村 KARUIZAWA BEAUTIFUL VILLAGE

『Ruiza ちゃん！取材日記』



新しくなった軽井沢駅観光案内所





新しい軽井沢駅北口

軽井沢駅北口の新たなランドマーク、『SHARE LOUNGE 軽井沢 T-SITE』が 2026 年 3 月 17 日に OPEN し、今回、広報誌「グリーンブリーズ Vol.58」の打合せで利用しました。

中に入ると、開放的なラウンジでパソコンを開いている方、お茶を飲みながらにこやかに談笑したりとそれぞれの時間を過ごしていらっしゃいました。

ペットとくつろいでいる方にお話を伺ったところ、お友達と福島県から来訪との由。「ペット同伴施設は沢山あるが、このシェアラウンジはワンちゃんと一緒に利用できてとても快適です。軽井沢はペットに優しい街なので何回も来軽してますが、ますます気に入りました！」と感想をいただきました。

観光案内所としても、電車待ちや家族連れで気楽に過ごせる場所を紹介できるようになって良かったです。
町の皆様も気軽に利用できるラウンジだと思いました。

T-SITE を起点として、軽井沢・信州の魅力発信のきっかけにしていただき、周遊観光に繋ってほしいです。

広報委員会　徳道 千代子

★軽井沢駅内観光案内所
開所時間：9:00 ～ 17:30
TEL：0267-42-2491
※GW・夏季所定期間は開所時間を延長します

KARUIZAWA T-SITE



「軽井沢 T-SITE」が位置する場所は、しなの鉄道株式会社が所有し、1997 年の北陸新幹線開業に伴い廃線となった旧信越本線の線路跡地を活用するものです。この敷地を三菱地所が賃借して軽井沢駅自由通路直結の商業施設を開発、アクアイグニス社とカルチュア･コンビニエンス･クラブ（CCC）が温浴施設や宿泊施設､飲食･物販店舗等を運営しています。「軽井沢 T-SITE」を通じて地域の皆さまとの連携を進め、軽井沢の魅力を発信、活性化に貢献したいと思っています。

まちと駅に繋がる開かれた施設を目指す「軽井沢 T-SITE」は３月１７日にオープンすることができました。話題のスイーツや、地元の素材を活かした味が楽しめる "信州体感エリア"､日常に寄り添う美食も集結。さらに､軽井沢初出店となる「鮨屋小野」をはじめとした、匠の技が光る名店も出店し、訪れる人々の胃袋をくすぐるラインアップが実現しました。また､「SHARE LOUNGE」は、おしゃべりもはずむカフェとして、ゆったり上質な時間を過ごせるラウンジとして、仕事に集中したい時にはオフィスとして、自由自在な使い方ができる空間です。そんな SHARE LOUNGE の隣には、開放感のある露天風呂や屋外サウナが楽しめる温浴施設も。軽井沢の爽やかな風に包まれて、まるで時を忘れるような感覚で身も心もほぐされます。皆さま、ぜひ「軽井沢 T-SITE」にお出かけください。

軽井沢 T-SITE 担当











STAFF
観光協会職員紹介



事務局長　仁科（にしな） 英孝（ひでたか）

4 月 1 日付で着任しました。このご縁を大切に、軽井沢にお越しになる皆様に静謐で上質なひと時を堪能していただけるように事務局職員一丸となって会員や役員の皆様と一緒に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



竜野（たつの） 茂康（しげやす）

いつも会員の皆様には助けていただいています！！感謝申し上げます。普段は事務局で様々な観光協会の事業に携わっています。観光協会に入って今年で 10 年経ちますが、自然豊かで爽やかな空気、そこに住んでいる人々のおもてなしの精神、バラエティー豊富な食事、お洒落なホテル、文化や芸術・スポーツが盛んなまち・・・日々発見がつきません。すっかり軽井沢のとりこになっています♪これからも観光協会の事務局から軽井沢を盛り上げていきます！！

写真は各自のおススメの風景です



黒岩（くろいわ） 美希（みき）

観光協会にお世話になり、かれこれ〇〇年。
若い頃、軽井沢に来ると「都会」に来た感じでとてもわくわくしました。
今も旧軽を歩くと色々なお店があり楽しませていただいています。
その中でお客様へのご案内の場所を見つけたりと楽しんでいます。
これからも素敵な軽井沢の紹介と、お客様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



三好（みよし） まゆみ

こちらでお世話になり半年、昨年夏に東京から移住して参りました。7 年間の二拠点生活を経て住み始めた軽井沢ですが、その奥深さに再発見と学びの日々です。現在は持ち前の健脚とバスを駆使し、街の『今』を肌で感じる毎日を楽しんでいます。知っているようで知らなかった軽井沢の魅力を、皆様と共に発信していければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



北沢（きたざわ） 直美（なおみ）

本年 3 月よりお世話になっております。
大学時代に何度も訪れた思い出深い軽井沢で、こうしてお仕事ができることに素敵な縁を感じております。
新しい感性を取り入れた施設やスポットが注目を集める一方で、昔から変わらぬ洗練された雰囲気も大切に守られている町。この魅力を、訪れる方々に広くお伝えし、皆様のお役に立てるよう全力で努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤（さとう） 数枝（かずえ）

観光会館の清掃を担当しております。
案内所や有料トイレを気持ちよくご利用いただけるよう、日々心を込めて清掃しております。
皆様が安心して快適に過ごせる環境づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤（さとう） あす香（か）

観光会館で案内や折り紙を通じて、おもてなしをしています。
インバウンドの方には日本の文化を知っていただくきっかけになるので、
着物や浴衣の折り紙を作って工夫をしています。季節ごとに桜や、クリスマスのサンタクロースなど、子供に大人気のピカチュウ等を作ってプレゼントしています。
訪れた方の心に残る旅の思い出にして頂ければ嬉しいです。



岩瀬（いわせ） 伸佳（のぶよ）

軽井沢、中軽井沢観光案内所勤務 3 年目の岩瀬と申します。
観光案内やバス等の交通アクセスをご案内しております。
丸 2 年経ちますが、まだまだ自身の知識の無さを痛感する毎日です。
そのような日々の中、案内をした方が、「楽しかったわ、ありがとう」とわざわざ帰りに寄って下さる事があり、それがとても励みになっております。
これからもお客様に観光を楽しんでいただけるよう努力していきたいと思っております。



小清水（こしみず） 遼馬（りょうま）

軽井沢観光協会に迎え入れていただいてこの 3 月でちょうど 1 年が経ちました。
11 月から旧軽井沢の案内所である軽井沢観光会館に異動いたしました。
旧軽井沢の中心に位置し、国内外より多くのお客様が訪れるこの場所から、少しでも軽井沢の魅力発信に貢献できるよう努めてまいります。
今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



井上（いのうえ） 志穂（しほ）

掃除を担当しております。ご利用されるお客様からキレイとお褒めの言葉をいただけると嬉しく思います。
ご来館される方々が気持ち良く過ごせるよう、先輩方のお力を借りながら努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



山本（やまもと） 恵莉（えり）

軽井沢駅と中軽井沢駅の観光案内所に勤務しています。軽井沢町に新幹線や電車でお越しになるお客様が最初にいらっしゃる場所として、日々ご要望にお応えしております。主な観光スポットのご案内や目的地までの交通手段のご相談など、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



及川（おいわか） 泉余（いずよ）

軽井沢の自然が大好きで、離山には時間があればしょっちゅう登っています。明治大正時代の文人や宣教師たちがどんな思いで軽井沢に滞在し、また軽井沢のどこに惹かれたのかこれから徐々に深堀りしてゆけたらいいなと思っています。毎日案内所へ出勤の前に、大慌てで SNS 用の写真を撮っています。よい撮影スポットがあったら是非お教えください。

ホスピタリティ講演会



3 月 10 日、ホスピタリティ講演会を行いました。講師に木村まさ子さんをお迎えし、「自分へのホスピタリティ　～食といのちの大切さ～」と題してお話いただきました。当日は 55 名の皆様に、「自分を認めること、褒めること（自分自身へのホスピタリティ）」や「生きることは命を大切にすること」などについて、わかりやすく心に響く言葉の数々をお届けすることができました。

聴講後のアンケートでは、「自分自身にかける言葉に、なぜか涙があふれてきて、心が浄化されたような気持ちになりました」「言葉の温もりが画面越しでもとても伝わってきました」「自分を褒めることや、自分が大切な存在であることを考えさせられると貴重な機会になりました」などの感想があり、聴講している方々に響いていたと感じました。

次回以降も、様々なテーマでホスピタリティ講演会を予定していますので、楽しみにお待ちください。

総務委員会担当　竜野 茂康

ドッグツーリズム

軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクトは、2025 年度で 10 周年を迎えました。毎年発行している「軽井沢 MAP with DOG」は、飼主の皆さまから軽井沢町の犬情報が良くわかると、人気冊子となっております。また、10 周年の節目として、2025 年 11 月 1 日の犬の日に「軽井沢ドッグツーリズム憲章」を制定致しました。愛犬との旅行を心ゆくまで楽しみながら、地域社会への配慮と自然環境の保護を両立させる事を目的とし、住民や別荘移住者、観光客の皆さまが快適に過ごせるリゾート地を目指すものです。豊かな自然の中で、人と犬が共生する未来を創っていきましょう。



事業委員会　西山 紀子

海外プロモーション報告





令和 7 年度軽井沢町委託事業の一環として、「11/21-23 タイ FIT フェア」と「1/23-25 フランス Voyage & Saveu du Japon 2026」に出展し、海外プロモーションを行いました。それぞれ軽井沢の魅力を伝え、軽井沢の良さをアピールしてきました。

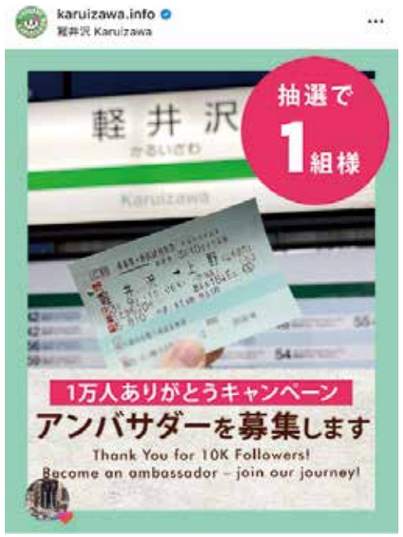
タイは、近年県下でも来県者数が年々増加しており、軽井沢町内でも家族連れでお越しになっている方を多く見かけるようになっています。今後も期待される市場であり、継続して誘客に努めていきたいです。

フランスでは、日本に興味のある方が多かったものの、まだ軽井沢の認知度は低かったです。しかし、首都圏からのアクセスの良さと豊かな自然、近隣に日本酒やワイン製造の土壌が備わっていることなどから興味をもっていただきました。フランス人は長期で日本に滞在する方も多いため、軽井沢に足を延ばしていただき長期滞在に繋げたいです。軽井沢を起点にして近隣の魅力も浸透させていきたいです。両プロモーションとも協会 SNS フォロワー数の目標数値をタイは 1,000 人、フランスは 500 人としていましたが、いずれも達成することができました。

誘客企画委員会担当　竜野 茂康

Instagram フォロワー数 1 万人ありがとう キャンペーンのご報告

前年度比 7 割増！





軽井沢観光協会公式Instagramを開設して6年目でフォロワー数1万人達成を記念して「1万人ありがとうキャンペーン」を行いました。

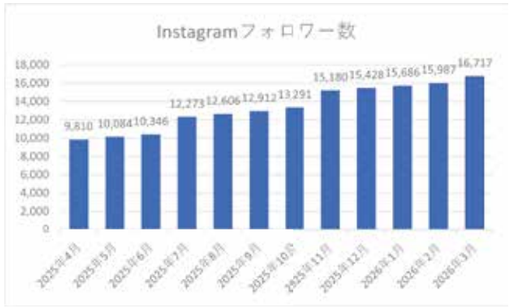
今回の企画に際しましては格別のご協賛を賜り誠にありがとうございます。

おかげ様で、非常に多くの反響がありフォロワー数も目標を上回る勢いで推移いたしました。

第一弾：抽選プレゼント企画・第二弾：JNTO UK とのコラボ企画・第三弾：アンバサダー企画と軽井沢の魅力が満載のキャンペーンとなりました。当選者の皆様から喜びの声、御礼の言葉がたくさん寄せられ改めて広く周知する大きな力となりました。

Instagram で軽井沢の魅力をより広く発信し、1 万人という節目を華やかに祝うことができましたこと心より感謝申し上げます。今後も、SNS を通じた情報発信を更に強化して軽井沢の魅力をお伝えして行きます。

広報委員会委員長　小林 里恵



協賛各社　（敬称略／順不同）

軽井沢マリオットホテル、軽井沢プリンスホテル、旧軽井沢ホテル音羽ノ森、万平ホテル、ドーミー倶楽部　軽井沢、軽井沢ホテルロンギングハウス、しなの鉄道「ろくもん」、金の日辻、軽井沢・プリンスショッピン　グプラザ、ライジングフィールド軽井沢、トラットリアプリモ、Karuizawa plus

軽井沢フォトコンテスト 2026





期間：2026 年 4 月 1 日 (水) ～ 2027 年 2 月 21 日 (月) 撮影分

テーマ：「ものがたりに出会う軽井沢」「文学が息づく風景」

参加方法：写真でつながる軽井沢フォトコンテスト公式 Instagram[@karuizawaphoto.official] をフォローして、軽井沢で撮影した写真を「#2026Karuizawaphotocontest」のハッシュタグを付けて投稿。# を付けて投稿した時点で応募完了となります。

詳しくは、写真でつながる軽井沢フォトコンテスト公式 Instagram[@karuizawaphoto.official] まで。

軽井沢フォトフェスト

KARUIZAWA FOTO FEST

KARUIZAWA FOTO FEST 2026

2026.5.1～5.31

軽井沢レガシーが写真で染まる

Les couleurs de la photographie, KARUIZAWA

https://www.karuizawafotofest.jp/.

『軽井沢朝マルシェ』を開催します!

～軽井沢町民の皆様、観光でお越しの皆様、ご家族ご友人とぜひお越しください～

とき：7 月 11 日（土）・12 日（日） ※雨天決行

時間：各日　9:00 ～ 15:00

場所：軽井沢町観光振興センター及び隣のポケットパーク

内容：旬の野菜、スイーツ・地元の食材を使用した食事や飲み物などの販売、クラフト体験

GREEN BREEZE No.58 2026 May 軽井沢観光協会広報誌

Karuizawa Tourist Association

■発　行：軽井沢観光協会 ■発行人：尾沼 好博 ■編集責任者：小林 里恵

TEL:0267-41-3850 FAX:0267-41-3851

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 470-3

エステー　東京海上日動

軽井沢観光協会 公式 HP